

# 芸談の会 中村鶴松 丈

～ 中村屋での歩みのなかで ～

御園座の歌舞伎公演に出演する旬の役者さんのお話を伺う「芸談の会」。今回は、四月の「陽春花形歌舞伎」にご出演の中村鶴松丈をお招きいたします。

5歳の時に子役として歌舞伎の舞台に出演、10歳の時に一般家庭から十八代目勘三郎さんの部屋子となった鶴松さんは、これまで中村屋の舞台を中心に数々の歌舞伎作品に出演してきました。勘三郎さんから「三人目のせがれ」と呼ばれ、中村屋ファミリーで研鑽を積んできた鶴松さんに、師の勘三郎さんからの教えをはじめ、中村屋一門のこと、今回の御園座公演のお役のしどころ、鶴松さんにとっての歌舞伎の魅力などを語っていただきます。聴き手は三重大学准教授で演劇評論家の田中綾乃さんです。

昨年、第一回の自主公演も成功させ、成長めまぐるしい注目の若手歌舞伎俳優の鶴松さん。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

期 日 2023年 4月8日(土)

PM 7:00～8:30 PM 6:30開場  
自由席

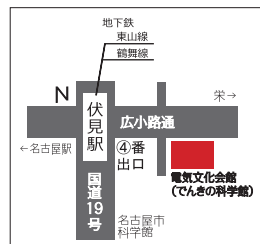
会 場 電気文化会館 イベントホール

名古屋市中区栄2-2-5 電気文化会館5階  
※地下鉄伏見駅4番出口より東  
(栄方面)へ徒歩2分

聴講料 一般 3,520円

25歳以下 2,310円(税込)

定 員 150人



## 中村鶴松 (なかむら・つるまつ)

1995年生まれ。屋号、中村屋。2000年5月歌舞伎座『源氏物語』の竹麿役で子役として本名で初出演。以来数多くの舞台に出演し、十八代目中村勘三郎の部屋子となり、2005年5月歌舞伎座『菅原伝授手習鑑』「車引」の杉王丸で二代目鶴松を名乗る。2018年平成中村座スペイン公演において『連獅子』の狂言師左近後に仔獅子の精を初役で勤めた。2021年8月歌舞伎座『真景累ヶ淵』にて新吉役を勤める。2022年6月には初めての自主公演「鶴明会」を浅草公会堂で開催し、中村屋にゆかりのある『高杯』の次郎冠者、『春興鏡獅子』の小姓弥生後に獅子の精を初役で勤めた。また、同月に中村屋の門弟たちで「鶴の子会」を結成し、岐阜県の芝居小屋の五座を回る。歌舞伎の魅力を自分たちで伝える活動も積極的に行っている。



司会・ナビゲート 田中綾乃 (たなか・あやの)

名古屋市生まれ。三重大学人文学部准教授。演劇評論家。カントを中心とする哲学研究を行う一方、長年の観劇歴から演劇批評にも携わる。歌舞伎公演パンフレットの演目解説や新聞評、雑誌などでの劇評執筆多数。

主催 栄中日文化センター 共催 電気文化会館(中電不動産株式会社)

申し込み



名古屋・栄 中日文化センター

0120-53-8164

〒460-0008

名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7階

10:00～19:00  
(日曜日は17:00まで)

栄中日文化センター

検索